

# R8年度当初予算の概要(右ページからの続き)

## ●重点的に取り組む3つの柱



### 結婚・子育て・教育

少子化対策、教育費無償化、教員の働き方改革など

167億



#### 【主な事業】

##### ♥ 結婚・子育て支援

少子化対策総合推進事業	5.0億円	▶企業とのタイアップによるマッチングイベント ▶「縁結び」支援の強化 ▶市町村への分析支援
おかやママ安心サポート事業	3.3億円	▶卵子凍結費用の助成 ▶プレコンセプションケア(※5)の拡充
県庁内保育施設整備	0.6億円	▶職員が働きやすい職場環境の整備 ▶子育てと仕事の両立モデルとして県民・企業へ発信
保育人材の確保・負担軽減	2.3億円	▶保育士の処遇改善、奨学金制度の充実 ▶保育所等のICT化促進による業務負担軽減

(※5)プレコンセプションケア…性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行うこと

#### 🏠 教育県岡山の推進

私立学校助成拡充(授業料支援)	188.7億円	▶私立高校等の授業料無償化に向けた支援拡充 ▶家庭の経済的負担を軽減し、学びの選択肢を確保
学校における働き方改革の推進	12.5億円	▶校務支援システムのクラウド化・DXの推進 ▶教員が児童生徒と向き合う時間を確保
不登校総合対策推進事業	1.4億円	▶校内サポートルームへの支援員配置を拡充 ▶「登校・自立応援室」等による居場所づくり
グローバル人材育成事業	0.3億円	▶高校生等の短期留学支援、国際交流の促進 ▶STEAM教育(※6)推進による次世代の育成

(※6)STEAM教育…各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育



### 産業の振興

企業誘致、中小企業支援、観光振興、スマート農業(※7)など

515億



(※7)スマート農業…情報およびデータ技術を利用して生産システムと運営を最適化をめざす農業形態

#### 【主な事業】

中小企業支援、生産性向上	4.8億円	▶省力化・デジタル化による生産性向上支援 ▶EVシフト対応 ▶半導体関連産業への参入支援
外国人材支援	1.0億円	▶日本語教育・生活相談支援 ▶受け入れ環境の整備
岡山桃太郎空港の強化	0.7円	▶機能強化に向けた旅客ターミナルの基本設計
白桃スマート事業	0.03億円	▶スマート農業技術の普及促進



### 安心・安全な地域

防災・減災、救急医療体制の充実、治安対策など

802億



#### 【主な事業】

脱炭素社会の実現(地球温暖化対策)	15.7億円	▶省エネ・再エネ設備の導入支援 ▶森林吸収源対策、環境学習の推進
子ども虐待防止総合強化事業	2.5億円	▶児童相談所の体制強化、一時保護所の環境改善 ▶見守りネットワークの強化
広域防災情報システム移行事業	0.7億円	▶中国地方各県で共同運用するシステムへ移行 ▶広域災害時の情報共有と連携を迅速化

## ●注目の新規事業



### サッカースタジアム調査・検討事業

- 新スタジアム整備に向けた協議体の設置
- 基本構想策定のための調査を実施



### 救急安心センター事業( # 7119 )

- 救急車を呼ぶか迷った時の判断をサポート
- 救急医療機関の受診適正化と安心の提供



### 路面標示リカバリープロジェクト

- 薄くなった横断歩道などをAI点検で特定
- 通路路などを重点的に緊急修繕を実施



発行:高橋とおる事務所 発行日:2026年3月27日  
〒703-8271 岡山市中区円山118 サンライズビル201  
TEL (086) 238-7775, FAX(086)238-7785

WEBページ



facebook



X



岡山県議会議員 高橋とおる

# 県政レポート Vol.53

## R8年度当初予算の概要

### ●予算の全体像

一般会計予算額

過去最大規模

8,197 億円

↑ 前年度比 +5.5%

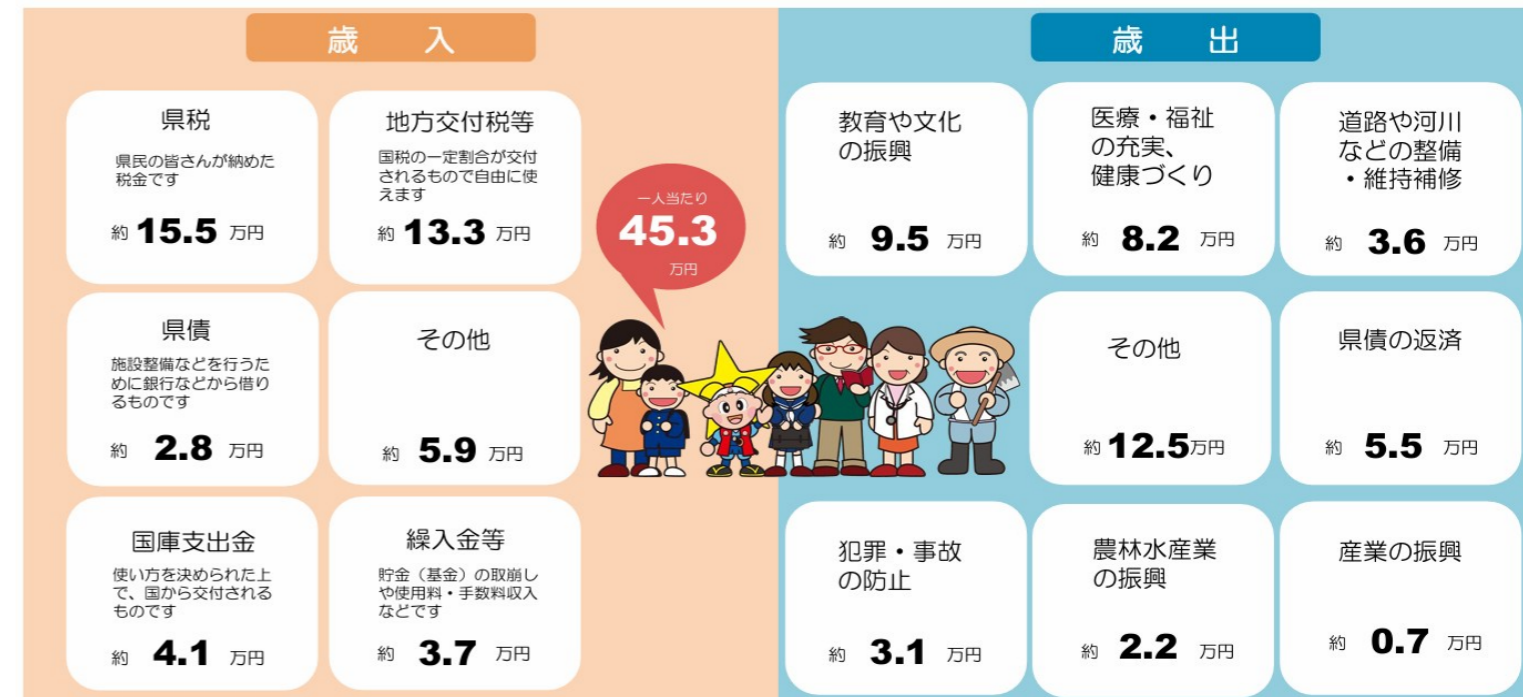
一般会計	8,197億円
特別会計	3,827億円
企業会計	210億円
合計	1兆 2,234億円

#### 【予算増加の主な要因】

	増加額	主な増加理由
義務的経費	+221億円	●人件費増 ●高齢化に伴う社会保障関係費の増 など
一般行政経費	+197億円	●私立高校の無償化 ●公立学校給食費の負担軽減 など
投資的経費	+9億円	●公共インフラの維持修繕 ●水島警察署建替整備 など

### 【県民一人あたりの歳入・歳出】

令和8年度の一般会計予算総額を岡山県の人口(約181万人)で割ると、一人当たり約45.3万円の予算が使われることになります。



今回の予算の特徴は、人口減少対策を中心とした「未来への投資」に力点が置かれている点です。結婚支援の強化など少子化対策を推進するとともに、スタートアップ支援や外国人材の受け入れ・定着支援、地域デジタル人材の育成など、地域産業や労働力確保にも重点が置かれています。また、救急相

談ダイヤル「#7119」の導入、交通安全対策、サッカースタジアム整備の調査など、県民生活の安心と地域の魅力向上につながる施策も盛り込まれました。人口減少が進む中、これらの施策が、岡山の持続的発展につながるのか、実効性が問われます。

ここがポイント!





## 1. 大学コンソーシアム岡山<sup>(※1)</sup>について

**【私の問題意識】** 県内大学を卒業した学生のうち、約60%が県外に就職しており、本県の人口社会減の主要因になっている。県は、関西圏に進学した学生のUターン就職を促進する方針だが、県内学生の県外流出を抑える対策も重要だ。現在、大学コンソーシアム岡山は合同企業説明会などを実施しているが、行政の関与・支援を強め、地元で学び地元で就職する「地学地就」のプラットフォームとして、もっと活用すべき。

(※1)大学コンソーシアム岡山…岡山県内18大学が参加し、産官学連携のもと「時代に合った魅力ある高等教育の創造」と「活力ある人づくり・街づくりへの貢献」に取り組むことを目的に設立された団体。

Q1

大学コンソーシアム岡山を活用し、加盟大学の学生を対象とした、おかやま地域学プログラムを創設してはどうか。県内企業と連携したPBL<sup>(※2)</sup>等を単位化し、岡山の魅力や業界構造等を体系的に学ぶ機会を拡充してはどうか。

(※2)PBL…改題解決型学習。学生が自ら問題を発見し、その解決策を探求する学習方法。

A1

若者に岡山の魅力や産業等を学ぶ機会を提供することは、若者の地域への愛着を醸成したり、地元企業を知るきっかけになり、県内定着につながることで期待できる。現在、コンソーシアム内でも、ご提案のようなプログラムの創設や単位化などの議論が進んでいると聞いている。県としては、大学コンソーシアム岡山の議論が有意義なものになるよう、市町村のニーズや先進事例の情報提供に努める。(県民生活部長)

Q2

大学コンソーシアム岡山は、事務局体制は1名、年間予算も600万円規模だ。上記取り組みを実効性あるものにするためには、事務局体制の強化と、県からの財政的・人的支援が必要だ。体制強化を図る考えは？

A2

県では、大学コンソーシアム岡山の主体性、自主性を尊重することを基本に連携を図ってきた。ご提案の事務局体制の強化については、まずは大学コンソーシアム岡山において検討されるものと考えている。県を挙げて、若者の還流・定着に係る対策を推進する必要がある。大学コンソーシアムの活用は有効だと思う。同組織に参加・協力を仰ぎながら、取組を進めていきたい。(知事)

## 2. 外国人材について

**【私の問題意識】** 来年から技能実習制度に代わり育成就労制度<sup>(※3)</sup>がスタートする。同制度では、日本語能力が制度要件として明確に位置付けられ、就労開始前にN5相当<sup>(※4)</sup>、特定技能1号移行時にN4相当が求められる。新制度の運用に伴い、外国人を受け入れる企業では、日本語教育を充実させる必要がある。県内の日本語教育環境を整えとともに、外国人労働者を受け入れる中小企業への支援が必要。

(※3)育成就労制度…人材育成と人材確保を目的とした外国人労働者受け入れの仕組み。従来の技能実習制度が途上国への技術移転を主目的としていたのに対し、育成就労は労働力確保という実態を認め、外国人労働者の権利保護を強化する仕組みとして運用される。

(※4)N5,N4…日本語の能力を測る日本語能力試験はN1～N5の5段階で判定される。数字が小さいほど日本語能力のレベルが高い。N5は基本的な日本語がある程度理解できるレベル、N4は簡単な日本語の会話や文章が理解ができるレベル。

Q1

育成就労制度への移行に伴い、外国人労働者に日本語を教育する環境整備が不可欠だ。県として、どのような支援を行うのか。また、新制度に対応した教育機関の整備状況や日本語教育人材の確保状況は？

A1

受入企業の日本語教育を支援するためのセミナーを開催する。県内の日本語教育機関は、新制度に対応可能な認定を受けていないので、今後、新制度への対応を働きかける。(産業労働部長)

Q2

県内には大学等に在籍し高度人材をめざす留学生や、専門学校等への進学を視野に日本語学校で学ぶ留学生等、多様な人材がいる。県内就職・定着に向け、それぞれに対応したきめ細かい取組について伺う。

A2

これまで、留学生に対し、日本の就活ルールなどを学ぶセミナーや、県内企業との交流会を開催してきた。来年度は、新たに、県内大学や日本語教育機関、産業支援機関等とも連携し、留学生を対象とした合同企業説明会や県内企業の見学ツアーを開催したいと考えている。(産業労働部長)

## 3. 介護現場のカスタマーハラスメント対策について

Q1

以前から介護職場でカスハラが絶えないことが問題視され、本議会でも安全対策を求める質問があったが、県のホームページを見る限り、取組に進展が見られない。県では、訪問系サービスの現場で働く人へアンケート調査を実施したと聞かすが、集約状況と、アンケート結果を問題解決にどうつなげるのか伺う。

A1

介護等の現場におけるハラスメント実態調査は、今月中の発表に向け、現在作業中だ。調査では、従業員が受けたハラスメントの内容は、暴言や威圧的発言など、精神的苦痛が大きな割合を占めており、事業所の管理者が求める対策は、利用者や家族への啓発、対応マニュアルの整備、研修等の実施となっている。こうした声に応え、管理者、従業員それぞれを対象とした研修の開催や、ハラスメント防止を呼びかけるチラシの活用等による利用者、家族への啓発などを行っていききたい。(子ども・福祉部長)

Q2

利用者・家族への啓発について、兵庫県ではリーフレットを作成し、同県明石市では介護認定通知書に啓発チラシを同封し、ハラスメント行為の理解促進と抑止力向上に努めている。契約時や認定通知時、更新時などに定期的・継続的な周知を進め、市町村と連携し、統一的な啓発資料を作成し、周知してはどうか。

A2

兵庫県や明石市のリーフレットは、ハラスメントの具体例がわかりやすく記載されていることから、利用者、家族に対するハラスメント行為の理解促進と抑止力向上につながると思う。このため、県では、兵庫県などの例も参考に、ハラスメント防止のチラシを作成しているところであり、今後、市町村と連携し、契約時や認定通知時などの機会をとらえ、定期的・継続的にチラシを配布したい。(子ども・福祉部長)

## 4. 岡南飛行場について

**【私の問題意識】** 岡山市南区の岡南飛行場の維持管理には、毎年およそ2億円の収支不足が生じており、本議会においても度々取り上げられている。同飛行場の収入の大半は、離発着手数料と駐機料金であり、収支改善にはその拡大が不可欠だ。今回の質問では、現状の改善点について、実際に小型飛行機を所有し、同飛行場に自身の機体を駐機しているユーザーにヒアリングを行い、その声を踏まえた質問を行った。

Q1

ビジネス機やチャーター利用の増加に向け、タクシーやハイヤーの機体横付け、レンタカーの配車対応、東西エプロンへの送迎サービス、VIP待合室の整備などサービスレベル向上に向け、不断の取り組みを行っているか。また、小型機専用飛行場であるにも関わらず、飛行場の運用時間が8時30分から18時30分と短い。飛行機を使った日帰り旅行が難しいなど、「使いたい時に使える」という自家用飛行機の本来の価値を十分に発揮できない状況だ。追加料金を支払う形での時間延長など、柔軟な運用を検討できないか。

A1

VIP待合室の整備などには対応できていないが、タクシー等の機体への横付けは可能とするなど、利用者のサービス向上に努めている。運用時間については、近隣の生活環境への影響など課題もあり、慎重な対応が必要だと考えている。(県民生活部長)

**【私からの提案】** 小型機の燃料は、航空機専用燃料だけでなく、自動車用ハイオクガソリンを使用できる機体も増えている。価格は航空機燃料リッター450円程度に対し、自動車用ハイオクガソリンは200円程度。岡南飛行場含め自動車用ガソリンを給油できる地方空港は少なく、仮に岡南飛行場で給油が可能となれば、燃料補給を目的とした立ち寄り利用などの増加が期待できる。また、複数の個人や会社が小型飛行機を共同で所有し、スマホ等で利用予約をして、利用したいときに利用できるサービスの提供も始まっている。このようなサービスでは、拠点となる飛行場に常時、数台から数十台の駐機が必要であり、安定的な駐機料の確保につながる可能性がある。岡南飛行場には、晴れの日が多い、市内中心部から近いなどの「地の利」があり、拠点空港になりうるポテンシャルがある。利用拡大に向け、前例にとらわれず、様々な可能性を追求してほしい。